

平成20年6月中間期連結業績の概要

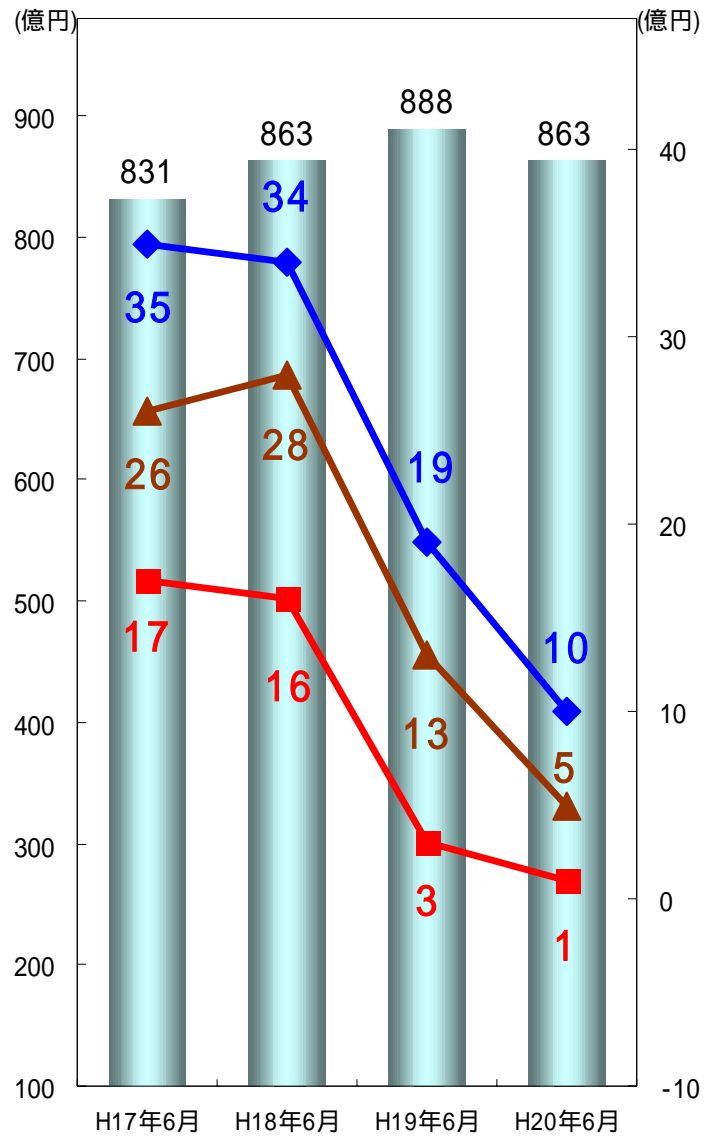
平成20年1月～6月

- ・連結業績のポイント
- ・セグメント情報
- ・海外事業
- ・連結各社個別業績

株式会社ノーリツ
代表取締役社長 神崎茂治

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

平成20年6月中間期 連結業績のポイント



■ 売上高 ◆ 経常利益
▲ 営業利益 ■ 中間純利益

売上高 (前年同期比増減率 2.8%)

- ・ノーリツ 37億円、ハーマン 8億円、NTS + 9億円、中国3社 + 4億円
- ・為替の影響による売上高 4億円

項目	増減 (億円)
H19年6月	888
海外	+6
住設システム	18
厨房機器	2
国内温水	18
その他	+8
H20年6月	863

営業利益 (61.3%)

- ・売上高減少と原材料費の高止まりで売上原価率が0.8P悪化
- ・海外子会社の販管費4億増加で、連結ベースでは販管費 5億円にとどまる

項目	増減 (億円)
H19年6月	13
海外	9
住設システム	1
厨房機器	3
国内温水	+5
その他	+1
H20年6月	5

経常利益 (49.0%)

- ・営業外損益の収支じり 1億円 (為替差損 3億円含む)

中間純利益 (51.0%)

- ・実効税率76.6%にアップ (前年60.5%)。米国ノーリツへの投資損失引当金 765百万円を有税処理 (税効果非適用)

総資産 87億円 (流動資産 79億円、固定資産 9億円、
 負債 11億円 純資産 76億円)

営業活動によるキャッシュフロー: 85億円 (対前年同期比23億円増)
 投資活動によるキャッシュフロー: 23億円 (対前年同期比70億円減)

平成20年6月中間期 連結経営成績

(単位:百万円)

連結	H19年(2007)		H20年(2008)				
	第1四半期期 実績	6月中間期 実績	第1四半期実績		6月中間期 計画	6月中間期実績	
				対前年 増減率(%)			対前年 増減率(%)
売上高	47,587	88,878	45,768	3.8	88,000	86,375	2.8
営業利益	1,801	1,371	1,135	37.0	700	530	61.3
経常利益	1,857	1,971	937	49.5	1,000	1,006	49.0
当期純利益	991	360	242	75.6	300	176	51.0

受取配当金の増額
などが当初計画より
増加したため

単体	H19年(2007)		H20年(2008)				
	第1四半期期 実績	6月中間期 実績	第1四半期実績		6月中間期 計画	6月中間期実績	
				対前年 増減率(%)			対前年 増減率(%)
売上高	37,412	67,942	34,727	7.2	64,500	64,006	5.8
営業利益	1,095	654	704	35.7	500	96	85.3
経常利益	1,354	1,350	842	37.8	1,000	953	29.4
当期純利益	787	326	537	31.8	450	201	-

売上減少に加えて、
原材料高による売
上原価が増加。

売上原価率
07年6月/ 72.1%
08年6月/ 73.1%

米国ノーリツの投
資損失引当金

平成20年6月中間期 営業利益増減の理由

営業利益増減理由	第1四半期		6月中間期			
	実績		計画		実績	
	プラス要因	マイナス要因	プラス要因	マイナス要因	プラス要因	マイナス要因
販売価格改善	11.7		17		15.2	
商品ミックスや台数減少		17.5		29.3		30.8
為替影響		2.1		2.4		2.9
コストダウン	3.9		9.8		7.3	
素材価格	0.8		1.3			0.9
製造費用増減(償却費増加分含む)		1.9		0.6		2.0
販管費増減		1.6		2.5		5.7
合計	16.4	23.1	28.1	34.8	28.2	36.6
営業利益増減額		6.7		6.7		8.4

銅価格:
1.4億円アップ
ステンレス他:
0.5億円ダウン

販売台数の減少でコスト
ダウン効果が減少した

販管費の削減を
実施

平成20年6月中間期 セグメント情報

(単位:億円)

	H17(05) 年	H18(06) 年	H19年(2007)		H20年(2008)								
			通期実績	6月中間期 実績	6月中間期計画		6月中間期実績			通期計画(当初)		通期計画(修正)	
					売上高	営業利益	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
国内温水空調機器	1,144	1,153	1,104	555	518	9	537	4.9	14	1,055	26	1,109	35
海外温水事業	64	95	138	71	90	1	77	8.4	1	200	3	165	0
住設システム機器	310	282	229	116	113	5	98	15.6	7	240	7	209	11
厨房機器	183	215	247	109	122	0	106	2.8	3	285	8	261	5
その他事業	58	73	80	36	36	2	45	25	3	80	5	86	6
合計	1,760	1,820	1,800	888	880	7	863	2.9	5	1,860	35	1,830	35

国内温水空調機器

売上高は前年を下回ったものの、需要の落ち込みが予想よりも低く、販売価格の改善などもあり、売上高・営業利益は回復した。

住設システム機器

販売台数の減少により売上高は減少。損益分岐台数をクリアできず営業赤字の幅が拡大。

厨房機器

オール電化の伸長により売上高は減少。ガス事業者向けの高付加価値品の伸び悩みと、キッチンメーカー向け普及価格帯商品の比率が増え、採算性悪化

その他事業

当グループ以外へのエレクトロニクス関連部品などの販売が堅調に推移した

平成20年6月中間期 主要品群(国内)の販売実績

(単位:千台)

		H19年(2007)				H20年(2008)						
		第1四半期		6月中間期		第1四半期		6月中間期				
		販売台数	需要	販売台数	シェア	販売台数	前年比	需要	前年比	販売台数	前年比	シェア
温水機器	ガス風呂釜	196	825	339	41.1%	178	90.8%	782	94.8%	313	92.3%	40.0%
	ガス給湯器	145	633	232	36.7%	122	84.1%	592	93.5%	201	86.6%	34.0%
	石油給湯器	35	188	62	33.0%	34	97.1%	161	85.6%	61	98.4%	37.9%
	小計	376	1,646	633	38.5%	334	88.8%	1,535	93.3%	575	90.8%	37.5%
SB(戸建)		8	373	17	4.6%	6	75.0%	342	91.7%	14	82.4%	4.1%
SK(戸建)		4	308	8	2.6%	3	75.0%	295	95.8%	6	75.0%	2.0%
洗面		29	899	54	6.0%	24	82.8%	829	92.2%	48	88.9%	5.8%
厨房機器		78	537	194	36.1%	78	100.0%	513	95.5%	187	96.4%	36.5%

国内温水空調機器

6月中間期需要は前年比93.3%、ノーリツ販売実績前年比90.8%でシェアダウン。

厨房機器(ハーマン)

6月中間期需要は、前年比95.5%。販売実績96.4%

住設システム機器

システムバス6月中間期需要は前年比91.7%、販売台数82.4%。システムキッチン需要95.8%、販売台数75%と、減少傾向を打破できず。

洗面の6月中間期需要は前年比92.2%、ノーリツ販売実績は88.9%

需要は全て当社推定

平成20年6月中間期 海外事業(1)

(台数:千台、売上高・営業利益:億円)

	H18年(2006)				H19年(2007)				H20年(2008)						
	通期実績		6月中間実績		通期実績		6月中間実績		通期計画(当初)		通期計画(修正)		6月中間実績		
	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	台数	売上高	営業利益
北米	46	45	23	22 (19百万US\$)	62	64	31	32 (27百万US\$)	91	87	68	63	32	29 (28百万US\$)	前年比5%増
アジア	185	41	78	15	272	69	128	33	388	93	394	92	172	40	
その他	33	10	14	5	39	12	24	9	66	20	53	15	33	9	
合計	265	97	116	43	373	145	183	74	545	200	515	170	238	78	1

・売上高 売上高は、北米で円高の影響を受けたもののアジアと日本からの輸出が好調で、前年同期比6%増となった。(為替影響:前年比 4.5億円)
 売上台数は、北米が前年2%伸長し、アジア、その他も同期比30%増となった。
 今年から開始したブラジル向けOEM供給が好調。

・営業利益 アジアが好調の一方で、北米事業の計画割れにより、営業利益は 1億円
 の赤字となった。(為替影響:前年比 2.9億円)

(為替 / 07年:120.51円/\$、08年:104.60円/\$)

平成20年6月中間期 海外事業(2)

- ・北米 売上高は円高の影響を受け、前年同期比6%減(USドルでは5%増)サブプライム問題の影響や優遇 税制の延長が見送られたことなどによって売上台数は2%増と、伸び率が鈍化した。

商品政策: エナジースターパートナーに認定

来年1月から家庭用ガス給湯器(*)がエナジースター対象となる。*熱量20万BTU以下の製品が対象
米国ノーリツ製品は4シリーズが全て適合。(当社のみ)
業界に先駆けエナジースターパートナーの認定を受けた。

拠点政策: ニューヨーク支店開設(8/4)

北米5拠点体制確立。ショールーム活用のビジネスモデルが確実に浸透し、営業上大きな武器となっている。
施工・アフターサービス向け研修にも活用。

トピックス: Make It Right 9への参画

俳優のブラッド・ピット氏らが中心となっているカトリーナハリケーン支援プログラムにスポンサーとして参画。
150戸の住宅全てにタンクレス給湯器を提供。

大統領選にあわせCNNのコマーシャルを活用し、知名度向上を図る。



エナジースターロゴと認定品



ニューヨーク支店・SR



Make IT Right 9

平成20年6月中間期 海外事業(3)

・アジア(中国)

中国は売上台数38%増、売上高24%増で堅調に推移。
上海及び主要都市部での販売が拡大。

ショールーム、専売店、代理店会、全国サービス店会の
活用による販売増量。

中国では省エネ基準(1~3級)に合格しなければ販売できないが、
現状全機種2級に適合済。来年、1級対応品を発売予定。

商品政策: 上海能率がCE認証取得

上海製ガス給湯器のグローバル展開が可能となり
欧州への輸出本格化にはずみ

生産政策: 新工場1月から本格生産開始。8月に2本目の
完成ライン稼働開始予定。主要部品の内製化
推進中。

・アジア(香港)

香港は給湯器や高額コンロの販売が好調で、売上台数21%増、
売上高39%増。

販売政策: 大型物件に採用順調



中国/CE認証



中国/専売店



香港の納入物件

平成20年6月中間期 海外事業(4)

・ブラジル

輸出本格化、NRブランド品の輸出に加え、OEM品輸出も好調で売上台数、売上高が前年の4倍近くに増量。



ブラジル展示会

・豪州

上半期は計画未達だが、年間計画達成を見込む。

省エネ・環境の先進地域であり、業界最高水準6.9スターを取得した省エネ・環境配慮型商品の発売で増量を図る。



豪州/業界最高水準達成

・ロシア

NRブランドでの輸出開始。既にモスクワ近郊3ヵ所でフィールドテストを完了、厳冬期の耐久性も実証済。

現地代理店を通じて販売拡大。

モスクワ建築大学内にも当社製品の研修センターを今秋設置予定で、建築を学ぶ学生、設計士、施工者など技術者向けの支援を強化



モスクワ事務所外観

・欧州

既存輸出国4カ国に加えイタリアでもOEM輸出開始。

将来、南欧、東欧への展開予定。環境規制法(EuP)対応の環境配慮型商品投入。

平成20年6月中間期 連結各社個別業績

(単位:百万円)

会社名		売上高	経常利益	当期利益
1 ノーリツ	H20(08年)	64,006	953	201
	H19(07年)	67,942	1,350	326
2 大成工業	H20(08年)	6,258	217	125
	H19(07年)	6,897	293	170
3 信和工業	H20(08年)	2,144	35	38
	H19(07年)	2,417	45	28
4 関東産業	H20(08年)	1,398	46	47
	H19(07年)	1,690	25	22
5 アールビー	H20(08年)	3,837	105	102
	H19(07年)	4,530	57	63
6 ハーマン	H20(08年)	13,733	35	7
	H19(07年)	14,475	149	66
7 ハーマンプロ	H20(08年)	11,979	16	55
	H19(07年)	12,586	240	142
8 多田スミス	H20(08年)	2,083	57	33
	H19(07年)	1,951	35	20
9 周防金属工業	H20(08年)	896	30	18
	H19(07年)	1,013	42	25
10 ノーリツエレクトロニクス テクノロジー	H20(08年)	8,333	65	4
	H19(07年)	8,445	62	30
11 ノーリツ住設	H20(08年)	2,705	10	5
	H19(07年)	2,752	33	19
12 エヌティーエス	H20(08年)	6,653	45	33
	H19(07年)	5,887	139	90

会社名		売上高	経常利益	当期利益
13 エスコア	H20(08年)	1,236	92	53
	H19(07年)	1,179	100	58
14 ノーリツキャピタル	H20(08年)	99	33	22
	H19(07年)	93	7	5
15 エヌアールケイ	H20(08年)	1,360	10	9
	H19(07年)	1,606	24	25
16 ユービック	H20(08年)	1,966	235	136
	H19(07年)	1,671	235	142
17 ノーリツアメリカ	H20(08年)	2,941	229	230
	H19(07年)	3,222	28	28
18 上海能率有限公司	H20(08年)	2,723	39	35
	H19(07年)	4,145	275	275
19 能率(中国)投資有限公司	H20(08年)	3,414	41	41
	H19(07年)	0	88	88
20 能率(上海)住宅設備有限公司	H20(08年)	537	123	123
	H19(07年)	-	-	-
21 能率香港集团公司	H20(08年)	445	1	1
	H19(07年)	578	5	5
22 能率香港有限公司	H20(08年)	582	15	16
	H19(07年)	417	2	2
23 能率電子科技(香港)有限公司	H20(08年)	1,738	34	34
	H19(07年)	1,768	59	59
連結	H20(08年)	86,375	1,006	176
	H19(07年)	88,878	1,971	360

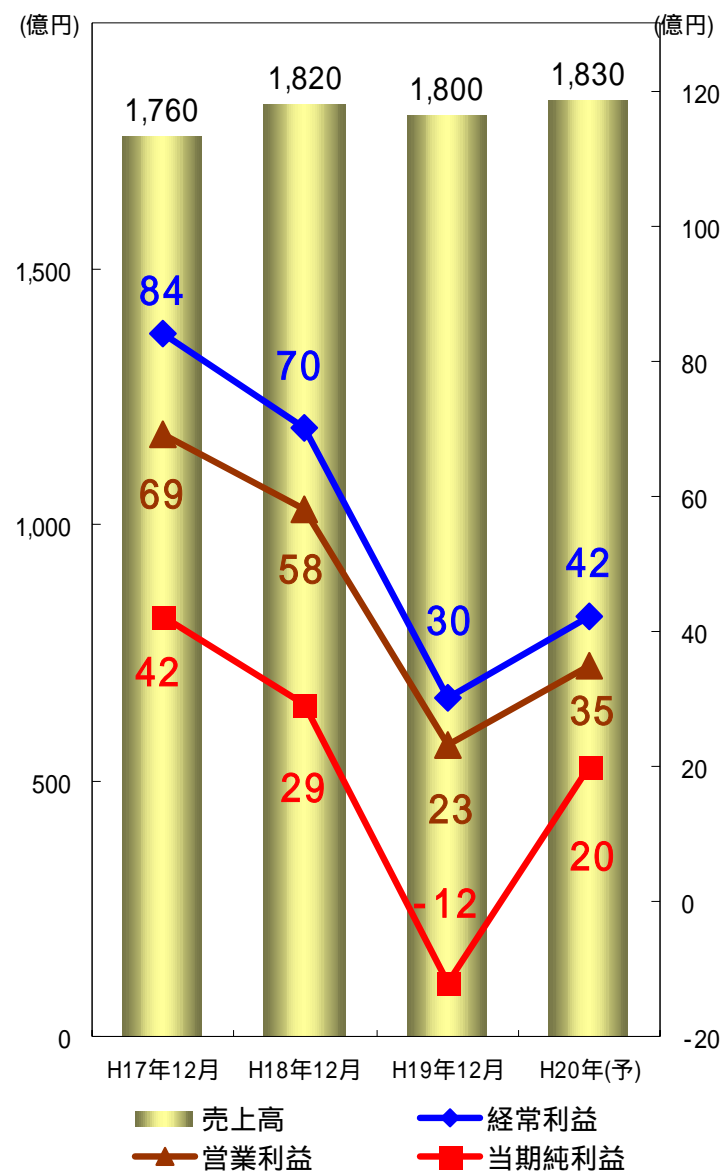
平成20年12月期連結業績の概要

平成20年1月～12月

- ・連結業績のポイント
- ・セグメント情報
- ・国内事業の再構築
- ・経営構造改革の進捗と株主還元
- ・設備投資、減価償却費、研究開発費

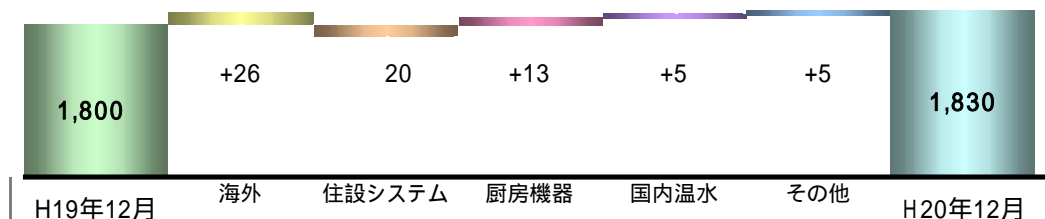
本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

平成20年12月期 連結経営成績予想



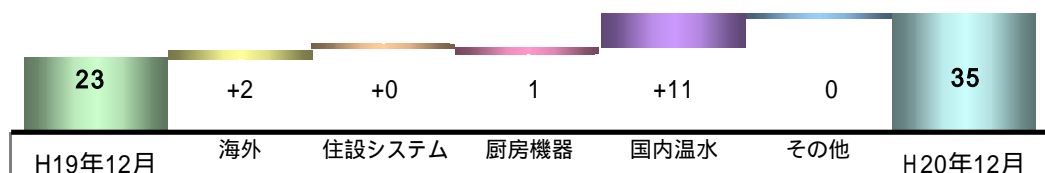
売上高 (前年同期比増減率1.7%増) 1,830億円

海外は中国を中心に売上高増加

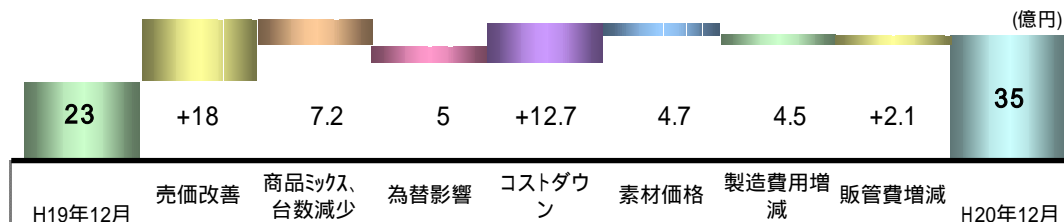


営業利益 (48.4%増) 35億円

国内温水機器は、高効率ガス給湯器などで粗利益増額



営業利益増減理由



経常利益 (39.1%増) 42億円

当期純利益 20億円

(前期は37億円の特別損失計上)

平成20年12月期 連結経営成績予想

(単位:百万円)

連結	H19年(2007)			H20年(2008)					
	6月中間期実績	第3四半期(1~9)実績	通期実績	6月中間期実績		第3四半期(1~9)計画		通期計画(修正)	
					対前年増減率(%)		対前年増減率(%)		対前年増減率(%)
売上高	88,878	130,221	180,017	86,375	2.8	129,875	0.3	183,000	1.7
営業利益	1,371	1,150	2,358	530	61.3	930	19.1	3,500	48.4
経常利益	1,971	1,702	3,019	1,006	49.0			4,200	39.1
当期純利益	360	96	1,208	176	51.0			2,000	-

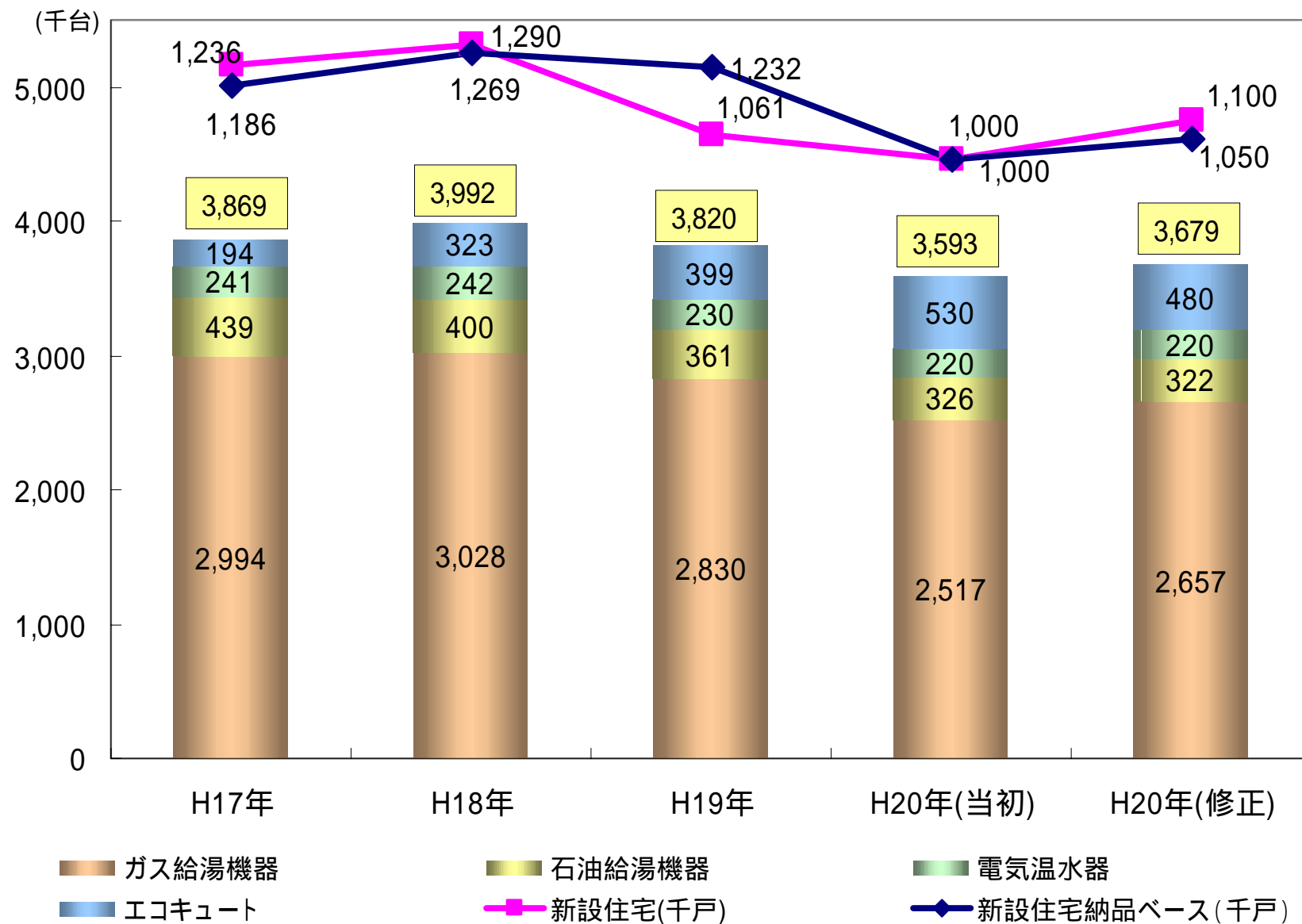
単体	H19年(2007)			H20年(2008)					
	6月中間期実績	第3四半期(1~9)実績	通期実績	6月中間期実績		第3四半期(1~9)計画		通期計画(修正)	
					対前年増減率(%)		対前年増減率(%)		対前年増減率(%)
売上高	67,942	98,585	134,929	64,006	5.8	95,506	3.1	134,000	0.7
営業利益	654	167	508	96	85.3	156	-	1,500	194.7
経常利益	1,350	478	1,282	953	29.4			2,200	71.6
当期純利益	326	288	1,244	201	-			400	-

平成20年12月期 セグメント情報

(単位:億円)

	H19年(2007)実績			H20年(2008)								
	6月中間期	第3四半期 (1~9)実績	通期	6月中間期実績			第3四半期(1~9)計画			通期計画(修正)		
	売上高	売上高	売上高	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益	売上高	対前年 増減率(%)	営業利益
国内温水空調機器	553	797	1,104	537	2.9	14	783	1.8	17	1,109	0.5	35
海外温水事業	71	105	138	77	8.5	1	118	12.4	0	165	19.6	0
住設システム機器	116	171	229	98	15.5	7	150	12.3	11	209	8.7	11
厨房機器	109	169	247	106	2.8	3	171	1.2	1	261	5.7	5
その他事業	36	58	80	45	25.0	3	66	13.8	4	86	7.5	6
合計	888	1,302	1,800	863	2.8	5	1,298	0.3	9	1,830	1.7	35

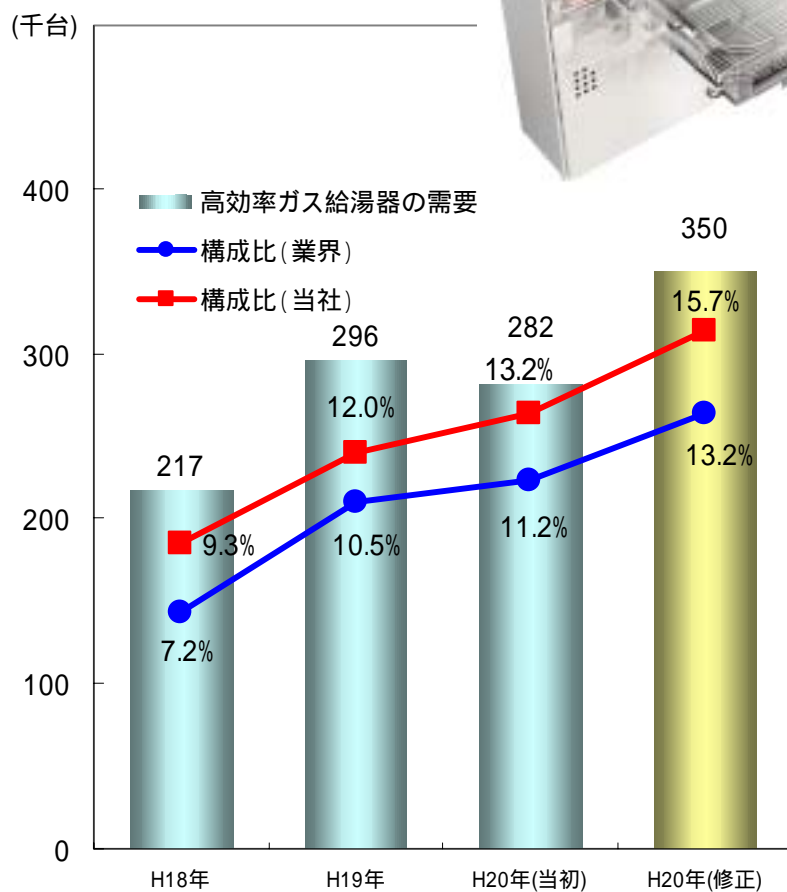
国内事業の再構築 新設住宅着工戸数と温水機器の需要修正



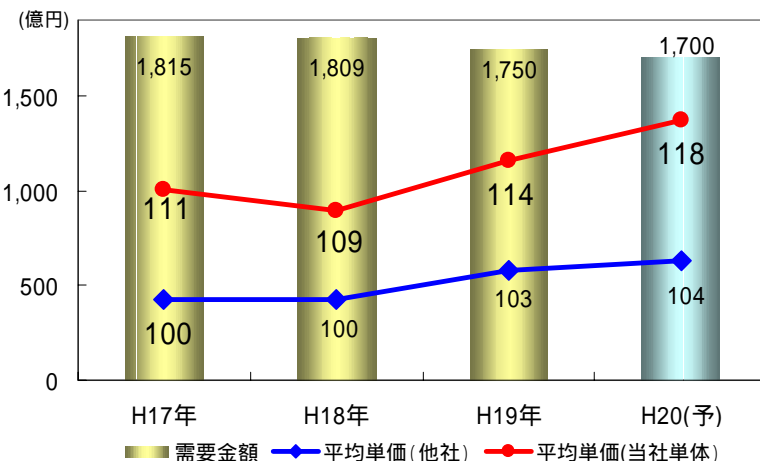
国内事業の再構築 温水空調事業の収益改善と環境対応

高効率ガス給湯器の販売構成

当初見込みよりも
台数、比率共に増加

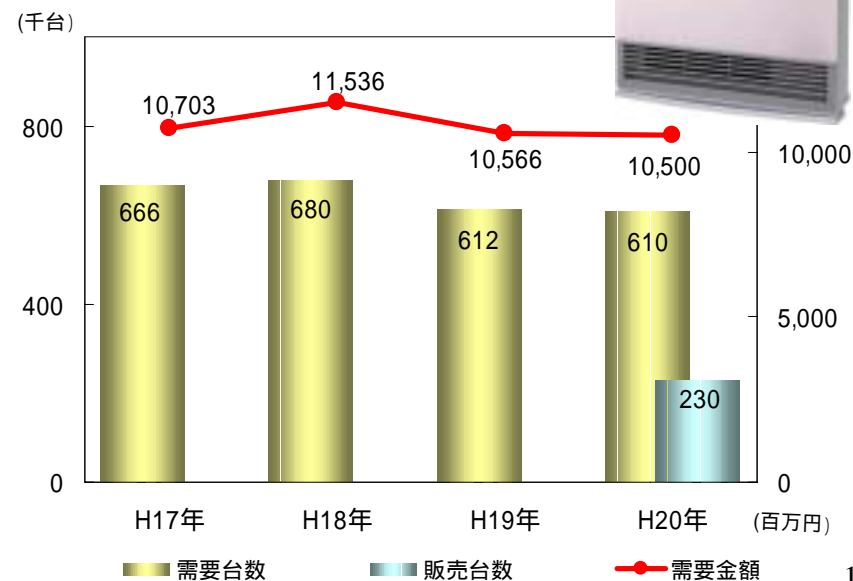


ガス石油給湯機器の需要金額と平均単価の推移



H17年の他社を100として指標化

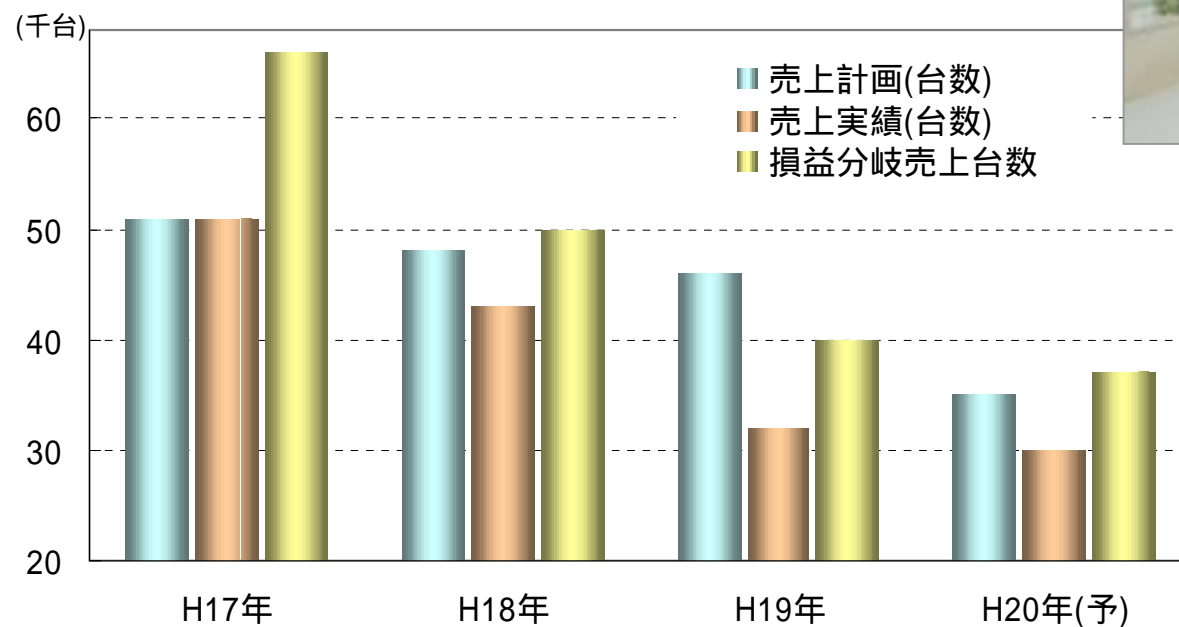
ガスファンヒーターの販売



国内事業の再構築 住設システム事業の黒字化

システムバス再構築の進捗について

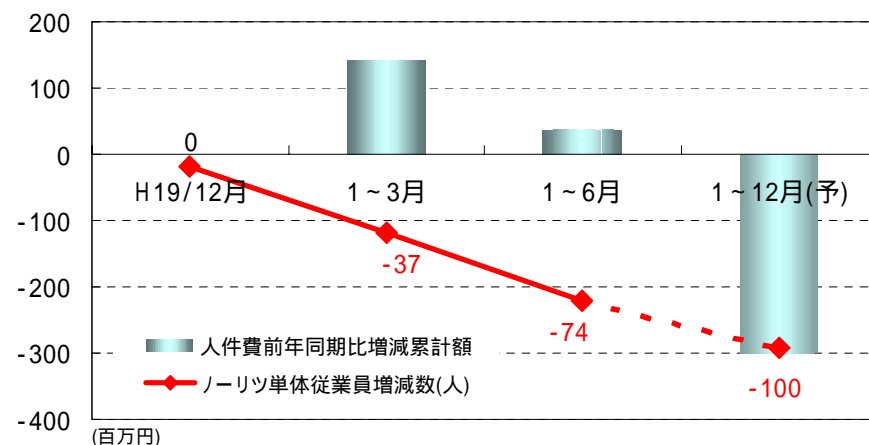
- ・固定費削減による、損益分岐売上台数の引き下げ
- ・リフォーム比率が5割まで向上
- ・売上台数は計画を割り込み、営業利益は当初計画を下回る見込み



経営構造改革の進捗と株主還元

固定費20億円の削減(H19年対比H22年)の進捗について

- ・昨年12月末と比較し、人員は6月末時点で74名減少
(3年間、毎期100名ずつ削減し、ノーリツ単体従業員の1割を削減する計画)
- ・早期着手可能な人件費削減を実施し、4月以降、前年同月と比べ減少に転じた
- ・今後も、グループ会社含めた拠点統合・再編により、コスト削減を計画

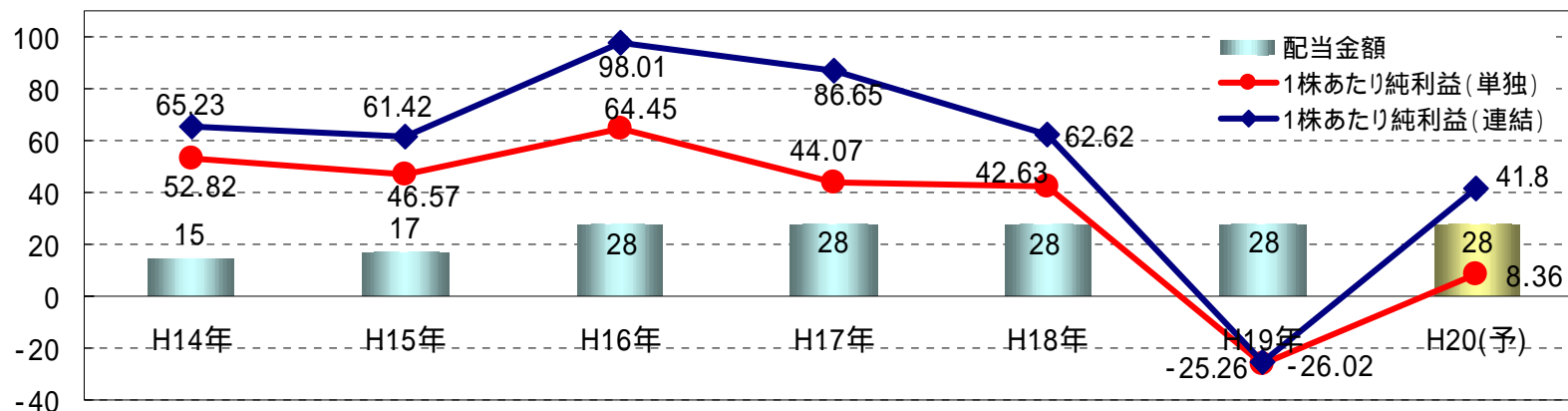


毎期10億円の原材料費の低減の進捗

- ・当期8億円を実施予定

株主還元

- ・継続的かつ安定的な配当政策の実施
- ・連結ベースでの配当性向35%を目標設定



平成20年12月期 設備投資・減価償却・研究開発

(単位:億円)

設備投資 ・ 減価償却費	H20(08年)						H21(09年)		H22(10年)		第3次中計合計	
	6月中間期		通期				当初計画		当初計画		当初計画	
			見込		当初計画							
	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却
ノーリツ単体	20	18	48	42	55	46	45	45	40	45	140	136
国内連結会社	7	9	19	23	20	18	6	15	9	4	35	37
海外連結会社	4	2	9	4	10	6	9	6	6	6	25	18
合計	31	29	76	69	85	70	60	66	55	55	200	191
内金型投資	10		20		25		20		17		62	

研究開発費	H20(08年)						H21(09年)		H22(10年)		第3次中計合計	
	6月中間期		通期				当初計画		当初計画		当初計画	
			見込		当初計画							
	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却	設備 投資	減価 償却
ノーリツ単体		24		47		47		45		40		132
連結子会社		6		12		15		15		20		50
合計		30		59		62		60		60		182